

レコードについて



当初は水平方向の振幅変化しか記録しなかったため原理的にモノラルだが、1930年にブラムインにより発明された45-45マイクログループ方式と呼ばれるステレオ録音技術が1956(昭和31)年に実用化され現在に至る。

SP(Standard Playing) レコード盤

回転数：78r.p.m.

直径：30cm(12インチ)または25cm(10インチ)、両面(初期は片面)

記録時間が30cm盤で片面4分30秒程度と短い。

モノラル記録

LP (Long Playing)レコード盤 (25cm)

回転数：33 1/3r.p.m.

直径：30cmまたは25cm、両面

長時間記録できるので、クラシック曲の収録やアルバムとして使用された。

モノラルまたは45-45ステレオ記録(一部は4チャンネル記録)

1分に33 1/3回転(=3分で100回転)という速度は、無声映画のフィルム

1巻15分の間に500回まわるというところに由来。



シングルレコード盤

回転数：45r.p.m.

直径：17cm(7インチ)

穴が大きいためドーナツ盤と呼ばれる。

モノラルまたは45-45ステレオ記録。